

カリキュラム

機構施設名： 山口職業能力開発促進センター
実施機関名： 株式会社 東京ナレッジプラン

(D)情報発信	SNSを活用した情報発信
インターネット活用	

コースのねらい	広報に用いるSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)の利用方法と、ネット炎上が企業及び従業員に与える損害や被害に関する事例を通してSNSに潜む危険性を理解し、SNSの正しい活用方法と情報発信方法を習得する。
---------	---

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 SNSの活用	(1) SNSの特徴と仕組み 広報に用いることができるSNS全体の特徴と仕組みを説明した上で、特に日本で5大SNSと言われるFacebook、Instagram、X(旧Twitter)、YouTube、LINEについてより深掘りした解説、最新情報を伝える。 (2) SNSの活用事例の紹介 企業アカウントの運用を解説したのち、業種別にSNS活用事例を紹介し自社への広報やマーケティングに取り入れる方法を解説しながら演習をおこなう。 【演習】SNSの導入演習(社内の運用体制を検証する) (3) アカウントの登録 Facebook(個人/ページ)、Instagram(個人/ビジネス)、X、YouTube(公式チャンネル)、LINE(個人/公式)それぞれの登録方法について解説する。	2.0
	2 情報発信	(1) 写真・動画の投稿 お手持ちのスマートフォンやタブレット、デジカメを使った写真・動画の投稿方法を説明し、より消費者へ伝わるような撮影テクニックを手本の投稿をリサーチしながら解説する。 (2) ハッシュタグの利用 ハッシュタグの概要説明と、実際のSNS(特にX、Instagram)の投稿をリサーチしながら解説する。また効果的なハッシュタグの作成を演習でおこなう 【演習】ハッシュタグの作成 (3) 投稿のアーカイブ SNS検索(キーワード、ハッシュタグ)で投稿のアーカイブがどのように見られているか、どのようなメリットがあるかなどを検証・解説をする。また実際に企業アカウントの投稿アーカイブを確認して参考とする。	2.0
	3 SNSの危険性	(1) ネット炎上と企業が受けるダメージ ネット炎上の仕組みと企業が受ける具体的な被害や損害を、過去の事例に基づき解説する。またネット炎上を防ぐための施策についてもテンプレートを活かして作成する。 【演習】社内ルール、SNS運用ポリシーの作成 (2) SNSによる情報漏えい、風評被害 企業機密や社外秘などの情報がSNSを通じてどのように漏えいするのか、またその後どのような風評被害がおこったのか、を過去の事例に基づき解説する。 (3) SNS利用の制限 ネット炎上や情報漏えいを防止するためには、会社全体で取り組むべきことがある。すべきこと、してはいけないことなどルール化し、SNS利用の制限も必要であることを伝える。 (4) SNS利用者の自覚と責任 現在はSNS担当者だけでなく、社内全員が利用者である。勤務中以外の投稿も無視できない社会となっている。そこで他社のルールを参考に利用者の自覚と責任が求められていることを再認識する。	2.0
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
企業としてどのようにSNSを広報ツールとして活用するのか、また情報発信だけでなく「炎上」「情報漏えい」などのリスクにどのように向き合って取り組むのか、が理解・運用管理できる人材となれるカリキュラムとなっている。

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
スマートフォンまたはタブレット端末(カメラ機能付き)(受講者持参) ポケットWifi(実施機関持参)	ノートPC(Wifi対応)(実施機関持参) PC OS: WIN アプリケーション: Microsoft Office365 WEBサービス: Googleサービス、各種SNS
●使用するテキスト	●その他
自作テキスト	

講師から一言
XなどのSNSをどう発信していくかの前に、なぜSNSを行うかをしっかり考えて頂きます。 訓練を通じて明日からの情報発信に活かされます。